



# ☆食育だより☆



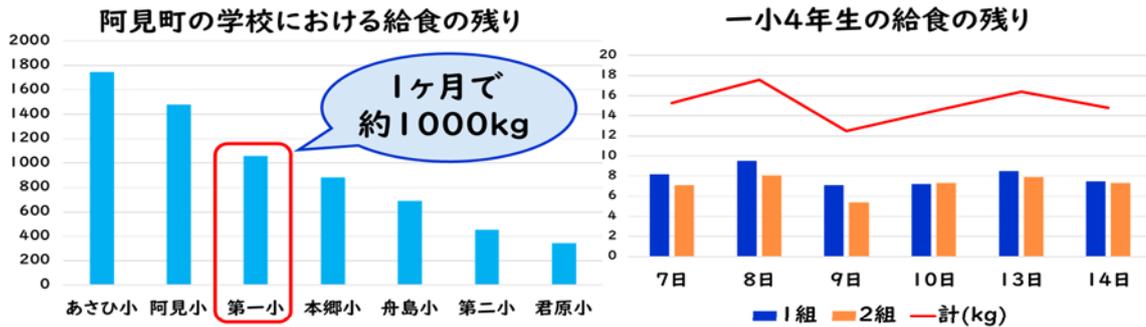
～みんなの力でろすのんを笑顔にしよう!～

阿見第一小学校

令和4年1月20日実施 阿見小学校 栄養教諭 宮澤 伽奈

先日、4年生の授業で「みんなの力でろすのんを笑顔にしよう!」というテーマで、食品ロスについて学習しました。今回の授業では、以下のような内容をお話したので、紹介させていただきます。

## ◎給食の食品ロスをのぞいてみよう



食品ロスは、身近なところに隠れています。



## ◎「ろすのん」というキャラクターを知っていますか？



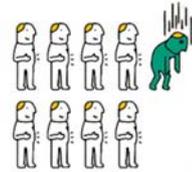
◎ 食べものに、もったいないを、もういちど。  
NO-FOODLOSS PROJECT

ろすのんとは、**食品ロスをなくす(non)**という意味が込められたキャラクターです。真ん中の赤い丸は「お皿」を、下の二本線は「お箸」をイメージしています。

## どうして食品ロスはよくないの？

### ① 食べたくても食べられない人がたくさんいるから

世界には、栄養不足の人が約8億人(=9人に1人)いると言われています。



### ② 環境への負担が大きくなるから

食品の運搬だけでなく、廃棄処理にもガソリンを多く使うため、地球温暖化など環境の負担が増えます。



4年生の課題として、野菜や魚料理の残食量が多いことが挙げられました。今回は、その2点に焦点を絞り、「みんなの力でろすのんを笑顔にしよう大作戦!」として、食品ロスを減らすための取り組みを一生懸命考えました。



## 授業を振り返って・・・

- ・給食などの食品ロスが、地球温暖化の原因になるなんて知りませんでした。
- ・「ろすのん」のことを思い出しながら、給食を残さず、好き嫌いなく食べようと思った!
- ・授業を通して、食べものはもともと生きていたことを思い出しました。命をいただいて食べさせてもらっているありがたさを頭に浮かべて、なるべく残さず食べようと思いました。



食品ロス削減のためには、一人一人の意識が大切です。他人事ではなく自分事として捉えられるといいですね。